

定 例 公 安 委 員 会 開 催 概 要

1 開催日

令和 7 (2025) 年 4 月 16 日

2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

■全体会議

【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「新聞に、地域の交通安全のため30年ほど前から設置されている警察官の人形を地元の高校生らが補修したとの記事が載っており、とてもありがたいと思った。交通安全などの活動は継続が大切であると思うので、引き続きよろしくお願いいたします。」

旨の発言があった。

【警務部議題】

○ 令和 7 年県議会 2 月定例会の開催状況について

警察本部から、「県議会 2 月定例会の開催状況について報告する。会期は、2 月 14 日から 3 月 25 日までの 40 日間で行われ、警察本部関係の議案等は、議案 4 件、報告 6 件であった。代表質問及び一般質問は 2 月 20 日から 2 月 27 日までの 5 日間で行われ、警察本部に対しては、一般質問で、日本共産党、盛岡選挙区の斉藤信議員から、『盛岡東署員の自殺事案に関連して、求償権の行使に至った理由及び元上司の支払いはどうなったのか』との質問がなされ、公安委員会委員長及び本部長が答弁した。

3 月 7 日に開催された予算特別委員会警察本部審査では、6 名の委員から質疑があり、本部長及び各部長等が答弁を行った。主な質疑・答弁については、希望いわて、奥州選挙区の郷右近浩委員から、特殊詐欺の被害防止対策について質疑がなされ、生活安全部長が、自由民主党、大船渡選挙区の佐々木茂光委員から、東日本大震災津波による行方不明者捜索における、これまでの取組と今後の取組について質疑がなされ、警備部長が、いわて県民クラブ・無所属の会、八幡平選挙区の工藤剛委員から、雪山での救助にあたる救助隊員の教育及び講習について質疑がなされ、生活安全部長が、希望いわて、盛岡選挙区の軽石義則委員から、職員の業務負担軽減対策について質疑がなされ、警務部長が、自由民主党、奥州選挙区の菅原亮太委員から、特殊詐欺に対応するための人員体制について質疑がなされ、刑事部長が答弁したほか、斉藤信委員から、一般質問に引き続き、『パワハラによる盛岡東署員の自死事案に関連して、元上司による暴行や叱責、その具体的な中身を示せ』、『公務災害認定ではパワハラ行為と精神疾患の発症に相当な因果関係が認められたとされているが、県警の調査の中では、精神疾患については明らかにされなかったのか』、『運転中の暴行は非常に危険な行為であり、結果として、8,300 万円の損害賠償を支払い、2

割の求償権まで発動した。県警は、重大な過失があったとまで認めていながら、本部長注意の措置が正しかったでは済まないのではないか』との質疑に対し首席監察官が、また、『パワハラが自死の一因とまで認めていながら、それでも、本部長注意とした当時の措置は問題なかったと思っているのか』との質疑に対し本部長が、それぞれ答弁を行った。

2月28日に開催された総務委員会において、警察本部関係の議案として、補正予算及び損害賠償請求事件（奥州警察署における特別公務員暴行陵虐事案）の2件について審査が行われ、自由民主党、宮古選挙区の城内愛彦委員、希望いわて、北上選挙区の高橋はじめ委員、自由民主党、遠野選挙区のはぎの幸弘委員、希望いわて、一関選挙区の岩渕誠委員から、それぞれの損害賠償請求事件に関して、今後の対策や求償権行使の見込み、組織的責任の認識等について質疑がなされ、警務部長、警務部参事官兼警務課長及び監察課長が答弁し、原案どおり可とされた。

また、この際質問において、城内愛彦委員から、自転車ヘルメットの着用状況及び交通安全協会の果たす役割について質疑がなされたほか、これに関連し、高橋はじめ委員から、自転車の飲酒運転について質疑がなされ、警務部長及び交通部参事官兼交通企画課長が、いわて県民クラブ・無所属の会滝沢選挙区の手嶋美穂子委員から、男性職員の育休取得状況と短時間勤務等の活用について質疑がなされ、警務部参事官兼警務課長が、はぎの幸弘委員から、不祥事案件の現状等について質疑がなされ、監察課長が、自由民主党、紫波選挙区の村上秀紀委員から、孤独死について質疑がなされ、生活安全部参事官兼地域課長がそれぞれ答弁した。

3月19日に開催された総務委員会において、警察本部関係の議案はなかったが、復興防災部の報告案件『岩手県犯罪被害者等支援実施計画（最終案）』に関する質疑対応のため、警務部長及び県民課長が出席し、この際質問において、はぎの幸弘委員から、不祥事に係る報道前の情報共有及び再発防止策の見直し等について質疑がなされ、警務部長が答弁した。

3月25日に開催された総務委員会において、警察本部関係の議案として、大船渡市における林野火災に関係する補正予算の審査が行われ、城内愛彦委員から、ヘリコプターの活動実績について質疑がなされ、警備課長が答弁し、原案どおり可とされた。」旨の報告があった。

《 委員発言 》

「2月定例会も丁寧に答弁していただいたと思っている。質問者の理解を得ることが大切であり、重要なことだと思うので、引き続き丁寧な答弁をしていただきたい。」

【生活安全部議題】

○ 日本マクドナルド株式会社と連携した子供安全対策の推進について

警察本部から、「この取組は、日本マクドナルド株式会社及び県内のマクドナルド全14店舗をフランチャイズ展開するヒロフーズ株式会社と連携して、各店舗を『こども110番の家』に指定し、児童の各種被害防止の呼びかけ等を行うものである。日本マクドナルド株式会社は、各都道府県警察と連携した防犯・交通安全教室の開催、広報啓発活動等を展開しており、『こども110番の家』には、31都道府県で2,400店舗以上、全店舗の約81%が

参画している。県内の『こども110番の家』の軒数は令和6年3月末現在で10,090軒であり、効果的な事例としては、小学女兒が帰宅途中に見知らぬ男に後方から追隨され、最寄りの『こども110番の家』に駆け込み110番通報や保護等をしてもらっている。今回の連携にあたり、4月18日、マクドナルド4号線盛岡南店において、『こども110番の家』のステッカーの掲出を行うほか、盛岡市立向中野小学校において、新1年生約150人を対象にマクドナルド社のキャラクターである『ドナルド・マクドナルド』と県警のシンボルマスコット『ぴかぽ』がコラボした『ドナルドの安全教室』を行う予定である。また、同日から、県内各店舗において、『岩手県オリジナルトレイマット』1,000枚を活用した啓発活動、6店舗でデジタルサイネージを活用した啓発活動も行うこととしている。今後も、『こども110番の家』を始めとした各防犯ボランティアの活動について、能動的な役割に期待しながら、見守りへの協力や不審者情報等の支援を強化していくこととしている。」旨の報告があった。

【警備部議題】

○ 専決事務処理状況（令和7年1月～3月）について

警察本部から、「令和7年1月から3月までの間における集会、集団行進及び集団示威運動に関する専決事務処理状況について報告する。集会の届出受理件数は11件で、前年同期比で1件増加、集団行進・集団示威運動の許可申請件数は26件で、前年同期比で1件減少している。許可申請を受理した後、不許可処分としたものや許可を取り消したものはない。また、集会の実施件数は9件で、前年同期比で1件減少、集団行進・集団示威運動の実施件数は23件で、前年同期比で6件減少している。」旨の説明があり、決裁した。

【その他】

- 「令和7年春の全国交通安全運動」の実施状況について説明があった。
- 「2025日本国際博覧会」（大阪・関西万博）の開催に伴う警察職員の援助要求（本県警察官の派遣）について説明があった。

■個別会議

○ 監察課

第44回危険業務従事者叙勲勲章伝達式における公安委員会委員長の対応についての説明、決裁

○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁

○ 交通企画課

運転免許停止処分の短縮を求める審査請求の取下げ受付についての説明、決裁